

お金の地産地消
テーマに講演会

NPO支援組織
多治見でセミナー

多治見ソーシャルビ
ジネスサポートネット
のセミナーが、多治見
市虎渓山町のとうしん
学びの丘エールで開か



「お金の地産地消」などを
学ぶNPOや金融機関の
参加者。多治見市虎渓山
町、とうしん学びの丘エ
ール

れた。

同ネットは、NPO
などのソーシャルビジ
ネス事業者を専門機関
が支援するワンストッ
プ組織として、日本政

策金融公庫多治見支店
や東濃信用金庫、同市、
多治見商工会議所など
が昨年9月に設立。

初の開催となったセ
ミナーのテーマは「地
域ネットワークを活か
した資金の循環モデ
ル」。NPOや支援機
関の職員ら約30人が参
加し、NPOへの融資

で実績のある「コミュ
ニティ・ユース・バン
ク momo」(名古屋
市)の木村真樹代表の

「お金の地産地消」と
題した話を聞いた。

木村代表は「金融機
関の貸出金が伸び悩ん
でいる。有望な融資先
の一つとして、NPO
が挙げられる」と指摘。

「地域課題を住民が主
体的に、ビジネスの手
法を用いて解決する取
り組みがコミュニティ
ビジネス。より広い
社会課題の解決を目指

すのがソーシャルビジ
ネスといわれる。その
担い手として認識が高
まっているNPOの数

は増えており、地域の
お金を有効に地域のた
めに循環を」と語った。
(高木俊徳)